

病院情報環境チェックリスト(ver1.0)

2016.10

*[]内ポイント

1. 情報検索のために病院が契約して以下の検索環境を準備している。(複数回答可)
 - [1] 医中誌 (病院契約)
 - [1] UpToDate, Clinical Key, Ovid, DynaMed 等の医学関連文献検索データベース(病院契約)
 - [0] 病院からは特定の有料検索データベースを提供していない

2. 院内で有線 LAN によるインターネットが以下の場所につながる。(複数回答可)
 - [1] 外来
 - [1] 病棟
 - [0] 図書室
 - [0] 医局

3. 病院が契約した無線 LAN 環境が
 - [2] ある (利用場所制限なし)
 - [1] ある (利用場所制限あり)
 - [0] 無線 LAN は病院から提供していない (個人または医局等契約に任せている)

4. 院内向け図書室ホームページを作成する等で電子ジャーナルなどを利用しやすくしている。
 - [1] はい
 - [0] いいえ

5. 院内での図書関連活動状況 (複数回答可)
 - [1] 診療に係わる情報検索環境を向上させるため、委員会で検討している
 - [1] 図書機能充実を図っている
 - [1] 病院ライブラリー協会等の参加を通じて、他院との情報交流を図っている
 - [0] 特に何もしていない

合計

点

(10 点満点)

上記各項目の背景の解説

1. 若手医師世代は EBM を簡単に検索できるよう、Yahoo/Google 等無料の検索エンジンをはじめとした電子情報を好む傾向にあります。有料情報検索データベースのニーズも高くなっています。
2. 院内において、外来や病棟で有線 LAN によりインターネットがつながる病院は必ずしも多くなく、EBM 情報検索を行うには私的電子機器を持ち込まざるを得ないなど、充実した情報検索環境が提供されている施設は決して多くありません。
3. 院内無線 LAN の提供がなされている場合でも、接続場所や接続の不安定性など、無線 LAN 環境の充実を望む声が多くなっています。
4. 病院によっては、院内スタッフが情報収集しやすいよう、院内向け図書室ホームページ等のプラットフォームを作成し、電子ジャーナルなどを利用しやすいように病院長や司書等が創意工夫されています。
5. 病院によっては、ライブラリーネットワークなど他院との情報交流を通じて、情報収集環境がより充実するよう、図書室司書が努力されています。